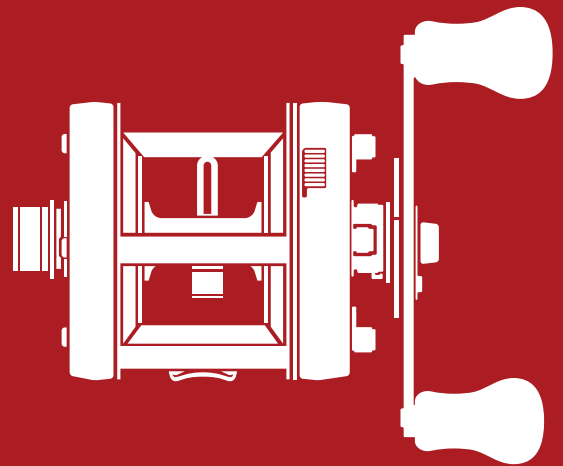


ABU **garcia**

*Simon Shimomura's  
Classic*

**Ambassadeur<sup>®</sup>**  
Casting Reel



## 永遠の名機、クラシック・アンバサダー

変遷する歴史の中で、発売以来しっかりと釣り人の心をつかまえて放さないクラシック・アンバサダーの魅力。それは正に魔力とも言えまいか？

— その魅力が今年ここによみがえります。 —

ここで紹介するクラシック・アンバサダーは所謂「復刻」と呼ばれるものではなく、ましてや「レプリカ」品ではない。それは深い眠りについていたオリジナル設計図を紐解き、出来る限りオリジナルの工具、インゴットを使って再現した由緒ある贅沢な「一品」です。

## 「“bass”それは正にAmbassadeurのミドル・ネーム。」 と言わせた名機

アンバサダーを語ることなくバス釣りは語れない。それは正にバス釣りの名機なのである。

只単に魚を捕獲することが目的なら、リールは何でも構わないかも知れまい。しかしこのリールほど豊かなゲーム性にとんでいて、釣り人の遥かなる夢をかなえるものは他に類を見ない。

その名機の伝統をそのままそっくりお届けします。

## Ambassadeur 5000Dシャンパン, Ambassadeur 5500Dシャンパン



大物のバスを一気にカバーから引き出す目的でアメリカ市場の要求に呼応して1972から作り始められたAmbassadeur 5000Dはユニークなダイレクトドライブ機構を搭載している。一般的にダイレクトドライブ機構ではスプールが常にハンドルと直結している為、キャストの際に問題をもたらす。これがアンバサダーのダイレクトの場合はクラッチ機構があるおかげで、他のアンバサダーモデル同様なキャストを味わうことができる。1974年に一部だけシャンパン・ゴールドで限定販売されたものがある。ここで紹介するものは後期型クラッチ機構と細軸スプールを組み合わせて、軽量化したモデルです。

5500Dはオリジナル生産においてはグリーン以外の電着塗装が施されることは無かったが、このモデルを多くの方のご希望に合わせてシャンパン・ゴールドでお届け致します。

フレームとハンドルは共に同一色のアルマイト塗装です。

## Ambassadeur 5500

1975年11月や12月のロットナンバーから、オリジナルは1976年用発売に際した生産が始められていることが判る。これまでサイドプレート、スターウィール、そしてフレームを赤い電着塗装で統一して来た5000がこの年ハイスピード化されるにあたり、サイドプレートはブラウン、スターウィールとフレームはクローム・フィニッシュと一挙に姿を変えました。

しかしながら「55ブラウン」は僅か2年余りで元通りに赤いサイドプレートに戻ってしまいます。

さらにその「55赤」は「55ブラウン」をそのまま継承した刻印モデル、スティッカー・バージョン、さらに希少なものとして5000モデル並にサイドプレート、スターウィール、そしてフレームを赤い電着塗装で統一したモデルも存在しました。

Ambassadeur 5500の中で特筆すべきものとして、ご存知シャンパン・ゴールドと呼ばれる希少モデルがあります。1976年の一時期だけ、アメリカで限定発売されたモデルです。

表面の電着塗装に落ち着きがある仕上がりが特徴です。是非、5000Dシャンパン・ゴールドと見比べて下さい。



## Ambassadeur 5500C 73 Big Aモデル、74モデル、76シルバー、78シルバー、79黒。

Ambassadeur刻印のAの文字が左サイドプレート上部に大きくデザインされたものが「Big A」モデルと言う訳で、その発祥は古く5000C4ネジ・モデルに遡ります。但し、5000Cの場合はプレート下部で四角い枠に囲まれてSVANGSTAの文字が刻印されている為、スバングスタ・モデルと呼ぶ事が一般的であり、「Big A」モデルと言うとどうしても5500Cや6500Cの73年モデルだけを意味するような表現として使われがちです。

5500Cと6500Cの「Big A」モデルは6500Cの72年末に一部例外的に存在する他は、たった一年限りで様変わりしてしまいます。短命であったことが「Big A」熱をあおったことは間違いなく、根強い人気があります。ハット・タイプのスプール・キャップ、涙型のスターウィール、丸型のレベル・ワインダーなどは74モデルでも取り入れられることになりました。



ガンメタルと呼ばれる色合いが73、74年で使われ、年が進むにつれて電着塗装が変わって行きます。刻印式76モデル、スティッカー式の78年では「クリアー」と呼ばれる電着塗装でシルバーに仕上げられ、そして最終79年モデルでは黒で締め括られました。

実釣目的に合わせて、73モデルから79年モデルまでハンドルは全て90mmパワー・ハンドルを搭載しました。

## Ambassadeur 6500



丁度5000番台に対して6000番台が有るように、これは5500のワイド・バージョンと言う訳です。ブラウンや赤モデルの場合と同様な履歴になりますが、只、6500では赤フレームに赤スターという組み合わせは存在して無かったようです。

## Ambassadeur 6500C

6500に先立ち、72年末に生産が始められたお馴染みのモデルですが、今回の取り組みでは77モデル仕上げを薄いグレーでお届け致します。淡水では雷魚や欧米でのパイク釣り、カナダ・アメリカでのマスキー釣りに重宝がられる中型サイズです。

希少価値が高く、コレクター待望の79年モデルの黒も近日発売予定です。

## Ambassadeur 5500 CDL



先に限定販売した大人気の5500CDL。14金メッキだったオリジナル品をアップ・グレードして24金メッキを施しました。特注スプール、特注パワーハンドルなど、付帯部品も豪華の限りを尽くしたセットとなりました。

参考商品としてカタログに掲載致します。いずれ又お目見えする時期があることと思いません。ご期待頂きたいと思えます。

## カスタム・カラー・モデル

ABU Garciaスウェーデン工場ではこれまで、さまざまな分野において、開発上の調査と研究を行って来た。その研究の一つに電着塗装がある。プロダクション・モデルが最終決定される段階でサイドプレートを中心にした色の選択がなされたことは言うまでもない。Ambassadeur 5000の赤はアブ・レッドと呼ばれるほど、アンバサダー・リールの代名詞であると言っても過言ではない。

仮に当時の選択が赤以外の色となったとしたら、栄光のアンバサダーの歴史は違っていたのではあるまいか？

色々な色が試され、その中からある色は選択され、ある色は脱落していった。

その後、年月は経ち、技術革新によりこれまで不可能だった色が製作可能になった。一方、時代の流れに伴い利用者側の色彩感覚にも大きな変化が現れて来た。

そこでホット・ピンク、バイオレット、サイモンズ・スペシャル、ブルー、オレンジ、イエローなどを初め、これまでオリジナルでは存在なかった色をクラシック・アンバサダーに施して見た。70年代のデザインに新たな色を当てはめる作業はまるで近代的住宅にアンティーク家具を持ち込み、装飾する感覚にも似ていて心がときめいてくる。

是非ご覧頂き、ご自身の目でご判断頂きたい。



## 純正パーツ

純正パーツとしてお使いになれるものを出来るだけ用意致しました。  
5000Dが5500Dにグレード・アップできるハイ・スピード・ギヤ・セットなど、これまで日本では未公開のパーツ・セットも商品化しております。  
是非、純正品の味わいを満喫下さい。

パワー・ハンドル類

ショート・ツインハンドル

ハイ・スピード・ギヤ・セット



## 保証と修理について:

お買い上げ頂きました商品は慎重なる品質管理の元に出荷されておりますが、不良な点やお買い上げ後修理調整の必要が発生いたしました際に備えて、日本国内にサービス・センターを設置しております。

## ミスター・アンバサダー、サイモン下村から皆様へ。

70年代のクラシック・アンバサダー・リールを組み立てて世に送り出すことが、私の楽しみの一つでした。そして私が組み立てたそれらのアンバサダーが、今さらに大きく羽ばたくこうとしている。数々の栄光に包まれたあのアンバサダー・リールの歴史の一旦を、今年から私が正式に担う事になったのです。

黄ばみがかったオリジナルの設計図とにらめっこしながら、パーツの型お越しを行っている時、当時の設計技師が私に語りかけて来る。重厚なオリジナルのモデル・ネーム刻印用のインゴットを手にとって見ると、ABU工場の活気あるざわめきが聞こえてくる。

- 釣り人がこのリールを目にした時そのアンバサダーがキラリと輝きますように。—
- 釣り人がこのリールを手にした瞬間にABU工場のざわめきが聞こえますように。—
- 釣り人万人にアンバサダーで釣る事のよろこびが判って貰えます様に。 —

私は私の元で誕生するこれらのクラシック・アンバサダー一つ一つに私の思いを託して送り出すことにしている。

私はアンバサダーを通じて、私の夢を伝え、釣り人達の夢をかなえることができれば良いと考えています。

2004年吉日



*Simon Shimomura's*  
*Classic*  
**Ambassadeur<sup>®</sup>**

ABU Garcia<sup>®</sup>、Ambassadeur<sup>®</sup>はPure Fishingの登録標章です。  
当社の製品はPure Fishing社の生産許可に基づき製作されております。

製作  
Fishy Business Inc.  
75 Corsaire Lane  
Schaumburg, IL 60173  
USA  
電話 (847) 995-1546  
ファックス (847) 995-1548  
E-mail : fishyon@attglobal.net